

第497回番組審議会報告

開催日 : 令和3年5月26日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/中川愛美 委員/堀内史子 委員/鈴木雅史 委員
水山和敬 委員/三浦真守 委員/川村正敏 委員/中村出 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率・制作関連 黒須 編成制作局長兼番組審議会事務局長
2. 報道関連 安部役員待遇報道局長
3. 番組合評

◇ 「やまがた発! ニッポンものづくりの極意 ~AIと新技術で手業に迫る~」

放送日 令和3年5月19日(水) 19:00~19:54 放送

担当: 編成制作局制作部長 工藤良一

◎その他

内容:

山形テレビの第497回番組審議会が開かれ、5月19日に放送した「やまがた発! ニッポンものづくりの極意 ~AIと新技術で手業に迫る~」を合評しました。暮らしだけではなく、企業にとっても生産性の向上には不可欠となっているAI=人工知能。そのAIと新技術が、熟練の技を再現しているものづくりに迫りました。

出席した委員からは、

「専門用語が多く理解に難しい箇所が少々あったが、作り手の熱い想いがきちんと伝わってきた」

「企業の紹介だけではなく、使い手側の視点や声にも焦点を当ててみては」

「バラエティが多いなか 硬派な番組を見てもらうためには、クイズ形式にするなどの工夫が必要」

「番組タイトルの軸からはみ出ている所が多くあった。メインの内容を的確にするべき」

「ミシン針の動くようすなど、説明映像がとても綺麗で感心した」

「アナウンサーの落ち着いた進行はよかったが、テロップの色や字体が番組の雰囲気と少々違っていた」

「今後のAIとヒトとの関わりについて、プロの方々がどう感じているのかコメントがほしかった」

「シリーズ化が定着しつつあり、今後も一つひとつの丁寧な番組作りを期待する」

などの意見が出されました。

以上